

防犯まちづくり計画策定マニュアルの作成

研究目的

犯罪に対する不安を抱えている社会状況下で、犯罪の機会に着目した状況的犯罪予防に加え、地域のつながりの再構築による持続可能な社会的犯罪予防が求められています。

本研究では、多くの地域で実施している防犯活動を地域のつながりの再構築の視点で、より効果的・地域横断的にかつ持続的に実施できるようにするための支援ツールの開発を目的としています。具体的には、地域の関係団体(町内会・PTA・商店会・市町村・警察など)が連携・協力し、子どもを守る防犯まちづくりを計画的かつ持続的に進めるため、交通安全や環境美化なども視野にいれ、適切な役割分担を促す計画の策定・実行・評価を支援する電子マニュアルを開発するとともに、それらを判りやすく表示した総合ポータルサイトと、地域における具体的な取組みの情報発信・情報共有を推進する地域ポータルサイトを開発し実際に運用することを目的とします。

研究概要

防犯活動に関する計画策定や活動の実行、評価について、実際に活動を行っている地域を支援しながら、それぞれマニュアルやポータルサイトの作成を行います。今年度、計画策定支援グループでは、国交省「住まいと街の安全・安心再生プロジェクト」モデル地区に対し、計画策定に取り組む動機や計画策定プロセスなどについてアンケート調査、訪問調査を行いました。さらに幅広いまちづくり計画に発展できるような拡張版マニュアル策定のために市川市稲荷木小学校区で「まちの将来の姿」を考えるワークショップを通じて、調査を進めています。

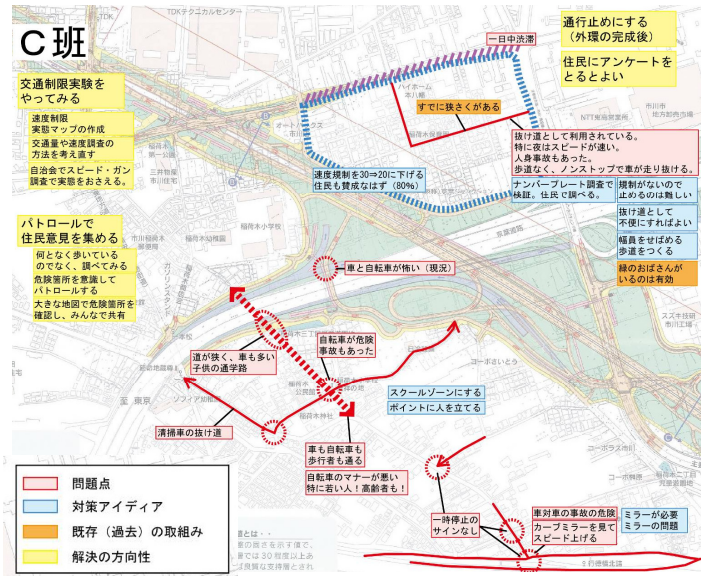


図1 市川市稲荷木小学校区でのワークショップのまとめ (一部抜粋)



写真1 低速で走行する電動自動車「ソフトQカー」で歩行社会安全性などの体験調査



写真2 スピードガンによる速度調査

研究の成果

この研究で作成する支援ツール（計画の策定・実行・評価マニュアル+ポータルサイト）は、地域の防犯活動の担い手や活動を支援する中間組織（NPO）などに活用されることにより、地域のつながりの再構築と防犯予防に役立てられることが期待できます。

今年度、計画策定グループでは、防犯まちづくりの計画策定マニュアル(標準版)のWeb化を行いました。また、市川市稲荷木小学校区での路の通行車両の速度調査や低速で走るソフトQカーの体験調査を含む3回のワークショップなどを通じて、住宅地のルールづくりなどハード面の計画検討手法に関する知見が得られました。

北方建築総合研究所 (担当科)
居住科学部都市生活科

共同研究機関
計画策定支援グループ (建築研究所、埼玉大学、岡山大学、(財)都市計画協会、(財)日本開発構想研究所、北方建築総合研究所) 他